



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

株式会社ロッテ

2023年11月1日(水)

国際プラスチック条約 企業連合(日本) にロッテが参画 プラスチック汚染を早期に根絶できる国際条約を目指し 11月1日(水) 日本政府向けの共同声明を発表

株式会社ロッテ（東京都新宿区）は11月1日（水）に、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（東京都港区、以下WWFジャパン）のサポートの下で日本政府への政策提言のために発足した「国際プラスチック条約 企業連合（日本）」に参画しました。

11月13日～19日に、ケニア・ナイロビで、プラスチック汚染対策の国際条約の制定に向けた政府間交渉第3回会合（INC-3）が開催されます。プラスチック汚染を早期に根絶するためには、国際条約を法的拘束力のある野心的な世界共通ルールに基づくものとして制定することが不可欠です。INC-3の開催に先立ち、プラスチック問題の解決を推進する日本の企業自らが、日本政府に対し、野心的な国際条約の発足を働きかける新たな枠組みとして、WWFジャパンのサポートの下で本日、「国際プラスチック条約 企業連合（日本）」が発足しました。そして、日本政府に対し共同声明を発表しました。

共同声明の全文については、以下のリンク先からご覧いただけます。

●国際プラスチック条約 企業連合（日本） 声明

日本語版 <https://www.wwf.or.jp/activities/statement/5450.html>

英語版 <https://www.wwf.or.jp/eng/activities/5451.html>

●国際プラスチック条約 企業連合について

エレン・マッカーサー財団とWWFの呼びかけで2022年9月に発足。プラスチックのバリューチェーン全体に関わる150以上の企業、金融機関、NGO パートナーが参加し、意見を表明。プラスチックをサーキュラーエコノミーへと移行させ、プラスチックが廃棄物となり、汚染を引き起こすことを阻止することのできる、野心的な国連条約の締結を共同で求めています。